

令和4年度中野区立中央図書館美鳩小学校分室事業報告

1 図書館概要

開館日：令和3年（2021年）4月20日

施設規模：小学校内1階（148㎡）

閲覧席：17席（内机8席）

蔵書数：図書資料2,394冊（一般書1,021冊、児童書1,373冊）

貸出冊数：35,368冊（一日平均159冊）

貸出人数：11,789人（一日平均53人）

休館日：月曜日・水曜日・金曜日（休日の場合は開館）、中央図書館の休館日

※ 夏季休業等は毎日開館（中央図書館の休館日を除く）

開館時間：10:00-19:00

※ 蔵書数、貸出冊数、貸出人数は令和3年度実績

2 事業報告

(1) おはなし会

毎月第1・3土曜日に定例おはなし会を実施している。

第1土曜日 15時 読み聞かせボランティア団体が担当

第3土曜日 15時 ライブラリーのスタッフが担当

(2) イベント

① 「本を読もう！スタンプラリー」

貸出冊数に応じてスタンプラリーを行い、規定数に達した方へ折紙のプレゼントをした。

② 「ライブラリーを飾ってみよう」

折り紙をお渡しし、作品を館内のコーナーに飾りつけしてもらった。折り紙に関する資料を収集・展示した。

③ 「本のくじびき」

くじを引くと、それと紐づけられたおすすめ本を借りることができるという企画。思いがけない本との出会い、読書の幅を広げるきっかけとなることを狙いとして実施した。

④ 「ひとことかんそうぶん」

本を読んだ感想を一言で書いてもらい、館内に掲示した。

- ⑤ 「どんな本、よんでみたい？」
読みたい本のテーマに投票してもらった。投票結果は、1月に実施する「本のふくぶくろ」に反映。小さいお子さんでも気軽に参加できるよう、シールを貼るアンケート方式をとった。
- ⑥ 「おすすめ本のクリスマスツリー」
好きなクリスマス飾りを選ぶと、その飾りと紐づけられたおすすめ本を借りることができるという企画。季節感を感じ、また、思いがけない本との出会いを楽しんでもらうことを狙いとして実施した。
- ⑦ 「本のふくぶくろ」
おすすめ本が2冊入った福袋を選んで借りていただいた。昨年も好評をいただいた企画であったため、普段あまり来館の多くない小学校高学年にも参加いただいた。
- ⑧ 「としょかんビンゴ」
出されたお題に従った本を借り、ビンゴを達成したらプレゼントを差し上げる(2023年3月実施予定)。

(3) 特集(テーマ展示)

1~2ヶ月に1回程度、季節の事柄や話題に合わせたテーマ展示を行っている。

- ① イースター卵(4月)
- ② 春(5月)
- ③ おばけ(6月)
- ④ 涼(7月)
- ⑤ WANTED(8月)
- ⑥ おんがくかい(9月)
- ⑦ えほんレストラン(10月)
- ⑧ 秋の実り(11月)
- ⑨ 冬っていいな(12月~1月)
- ⑩ さよならパンダ(2月)
- ⑪ スイーツ(3月)

(4) 地域連携・学校連携

- ① 団体貸出(3分室共通)
併設の小学校およびキッズ・プラザへの資料の受け渡しや貸出を行っている。
- ② 図書館見学会、まちたんけん(3分室共通)
併設の小学校に対し、学級単位で図書館見学会及びまちたんけんを実施した。
- ③ 夏季休業中の学校図書館資料の貸出・返却の受付(3分室共通)
- ④ 学校図書館開放(3分室共通)

土・日・夏季休業中等に子どもの学習スペースとして学校図書館を開放した。

- ⑤ 美鳩小学校児童を対象に、放課後にライブラリーへ立ち寄り、貸出・返却等のために短時間利用できる運用を10月より開始（美鳩ライブラリー）

（5）ブックスタート事業

0歳児の親子を対象に、絵本を読むきっかけづくりと図書館利用促進を目的として実施。ブックスタート・パック（絵本2冊・布製バッグ等）の配布（随時）を行っている。

（6）次年度に向けて

乳幼児や保護者、小学生、中学生の皆様「面白い」「楽しい」と感じていただける空間づくりをしていくため、蔵書の充実、イベントの実施、館内装飾等の工夫をする。また、学習スペース、交流の場としてなど、地域の方に活用していただく可能性を探り実行していきたいと考えている。

4 利用者アンケート結果報告

（1）結果概要

実施期間：令和4年8月1日（月）～31日（水）

有効回答数：64枚

（2）分析

① 今年度の評価

1) 蔵書（資料）の充実度 67.2%

満足（37.5%）、やや満足（29.7%）を合わせて半数を超える結果となった。一方で「今後、充実してほしい子ども向けサービスについて」の項目では「所蔵資料の増加」（21.7%）が最も多いご意見となっているため、引き続き資料の充実を図っていく。

2) 今後、充実してほしい子ども向けサービスについて

どの年齢層へのサービスが求められているかに着目すると、最も多いのは小学生（14.4%）、続いて中学生・高校生（7.5%）、乳幼児（3.4%）となった。また、「所蔵資料の量」（21.9%）、「自習席の増加」（7.5%）と合わせて考えると、中学生以上にも活用していただける可能性があることが分かる。購入資料の選定や学習スペースの広報など、小学校卒業後でも足を運びたいようなサービスの充実を図りたい。

3) 中野区立図書館は学びや課題解決に役立っていると感じていますか 89.1% 美鳩ライブラリーは他の区立図書館からやや遠い地域に位置しているた

め、学区域内に図書館が存在していること自体が、役に立っていると感じる方が多いのではないかと考える。「小学校の横に図書館分館を作るというはすばらしいアイデア」というお褒めの言葉もいただいている。今後は10代以下の方へ向け、資料購入および学校図書館の資料との補完的利用により充実を図る。同時に、保護者向けの資料も少しずつ追加し、親子ともに学びや課題解決のきっかけとなるよう運営をしていきたい。

② ご要望への対応

1) 幼児向けのイベントについて

幼児向けのイベント（おはなし会やワークショップなど）をもっと開催してほしいという要望をいただいた。現在開催しているおはなし会では特に年齢を制限していないため、より参加しやすいように広報を工夫し、また、毎月行っているイベントに幼児も参加しやすい形式をとっていきたい。

2) 自習席および蔵書の充実について

勉強机や自習席、蔵書を増やしてほしいという要望をいただいている。限られた空間のため、満足いただける数を用意するのは難しいところではあるが、学校図書館との補完的な利用、予約（取り寄せ）の利用をご案内し、満足していただけるように運営していきたい。

3) 学校図書館の小さい子の利用について

「学校図書館にも入ってみたいですが、小さい子がどうしても声が大きくなってしまっているので入るのをためらってしまいます。比較的入りやすい時間がありましたら掲示していただくと助かります」との意見をいただいた。ライブラリーの特性をご理解いただくよう働きかけると同時に、静かに勉強したい方との共存しやすい空間づくりに努める。

③ 次年度に向けて

開館から2年が経とうとしている。今後も地域の方々に向け、身近な存在として知ってもらい、楽しく過ごせる場となるよう発信し、ご意見・ご要望をお聞きしていきたい。また、イベントや特集コーナー、蔵書の充実を図るとともに、学校や地域の機関との連携によりライブラリーの活用をアピールしていきたい。